

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

3 端子負出力電圧安定化電源回路

μPC16300 シリーズは、負出力電圧用シリーズ・レギュレータ回路をモノリシック IC 化した 3 端子レギュレータです。

外付け部品を用いることなく、非安定化直流入力電圧から、安定化された固定電圧が得られます。出力電圧値 (-5 V, -8 V, -12 V, -15 V, -18 V, -24 V) に応じて 6 種類の製品があります。

特 徴

外付け部品不用

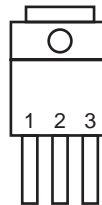
1 A の出力電流が得られます。

過熱保護回路内蔵

過電流制限回路内蔵

端子接続図 (Marking Side)

3ピン・プラスチックSIP (MP-45G)



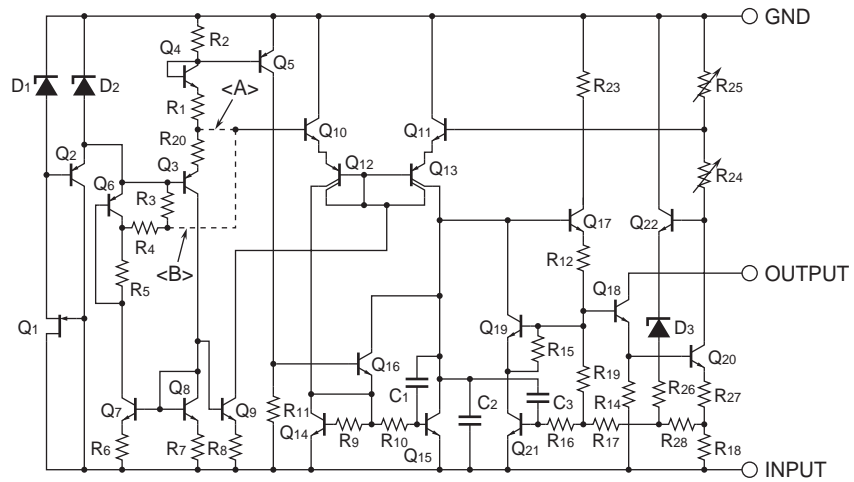
1: GND
2: INPUT
3: OUTPUT

オーダー情報

オーダー名称	パッケージ	出力電圧
μPC16305HF	3ピン・プラスチックSIP (MP-45G) (TO-220 絶縁型)	-5 V
μPC16308HF	3ピン・プラスチックSIP (MP-45G) (TO-220 絶縁型)	-8 V
μPC16312HF	3ピン・プラスチックSIP (MP-45G) (TO-220 絶縁型)	-12 V
μPC16315HF	3ピン・プラスチックSIP (MP-45G) (TO-220 絶縁型)	-15 V
μPC16318HF	3ピン・プラスチックSIP (MP-45G) (TO-220 絶縁型)	-18 V
μPC16324HF	3ピン・プラスチックSIP (MP-45G) (TO-220 絶縁型)	-24 V

本資料の内容は予告なく変更することがありますので、最新のものであることをご確認の上ご使用ください。

等価回路



備考 μPC16305, 16308 は<A>が接続されます。

μPC16312, 16315, 16318, 16324 はが接続されます。

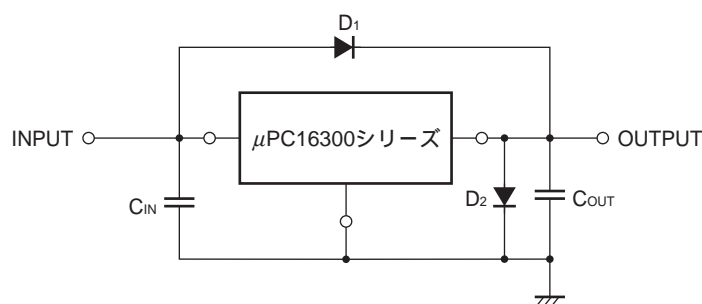
絶対最大定格（特に指定のないかぎり， $T_A = 25\text{ }^\circ\text{C}$ ）

項目	略号	相当品種	定格	単位
入力電圧	V_{IN}	$\mu\text{PC16305,16308,16312,16315,16318}$	-35	V
		$\mu\text{PC16324}$	-40	V
全損失 ($T_C = 25\text{ }^\circ\text{C}$) 注	P_T	全品種	15	W
動作周囲温度	T_A	全品種	-20 ~ +85	$^\circ\text{C}$
動作接合温度	T_J	全品種	-20 ~ +150	$^\circ\text{C}$
保存温度	T_{stg}	全品種	-55 ~ +150	$^\circ\text{C}$
接合 - ケース間熱抵抗	$R_{th(J-C)}$	全品種	5	$^\circ\text{C/W}$
接合 - 周囲空気間熱抵抗	$R_{th(J-A)}$	全品種	65	$^\circ\text{C/W}$

注 内部回路で制限されます。 $T_J > 150\text{ }^\circ\text{C}$ では、内部回路が出力を遮断します。

注意 各項目のうち 1 項目でも、また一瞬でも絶対最大定格を越えると、製品の品質を損なうおそれがあります。つまり絶対最大定格とは、製品に物理的な損害を与えかねない定格値です。必ずこの定格を越えない状態で、製品をご使用ください。

標準接続



C_{IN} : 2.2 μF 以上。電源平滑回路と INPUT 端子とのラインに応じて選定してください。使用するコンデンサには、フィルム・コンデンサのような電圧特性、温度特性に優れたものを推奨します。積層セラミック・コンデンサには温度特性や電圧特性が悪いものがありますので注意してください。積層セラミック・コンデンサを使用する場合、使用する電圧、温度範囲でこの容量値が確保できる必要があります。

C_{OUT} : 0.33 μF 以上。発振防止、過渡負荷安定度向上のため必ず接続してください。使用するコンデンサには、電圧特性、温度特性に優れたものを推奨します。

C_{IN} , C_{OUT} は IC の端子のできるだけ近く（1~2 cm 以内）に接続してください。

D_1 : INPUT 端子が OUTPUT 端子より高電圧になる場合はダイオードを接続してください。

D_2 : OUTPUT 端子が GND 端子より高電圧になる場合はダイオードを接続してください。

推奨動作条件

項目	略号	相当品種	MIN.	TYP.	MAX.	単位
入力電圧	V _{IN}	μPC16305	-7	-10	-25	V
		μPC16308	-10.5	-14	-25	V
		μPC16312	-14.5	-19	-30	V
		μPC16315	-17.5	-23	-30	V
		μPC16318	-21	-27	-33	V
		μPC16324	-27	-33	-38	V
出力電流	I _o	全品種	0.005		1	A
動作周囲温度	T _A	全品種	-20		+85	°C
動作接合温度	T _J	全品種	-20		+125	°C

注意 絶対最大定格を越えなければ推奨動作条件以上でご使用になっても問題ありません。ただし、絶対最大定格との余裕が少なくなりますので十分ご評価の上ご使用ください。また、推奨動作条件はすべて MAX.値で使用できることを規定するものではありません。

電気的特性

μPC16305 (特に指定のないかぎり, V_{IN} = -10 V, I_o = 500 mA, T_J = 25 °C)

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	V _o		-4.8	-5.0	-5.2	V
		-7 V V _{IN} -20 V, 5 mA I _o 1.0 A, P _T 15 W, 0 °C T _J +125 °C	-4.75		-5.25	V
入力安定度	REG _{IN}	-7 V V _{IN} -25 V		3	100	mV
		-8 V V _{IN} -12 V		1	50	mV
負荷安定度	REG _L	5 mA I _o 1.5 A		70	150	mV
		250 mA I _o 750 mA		20	80	mV
回路動作電流	I _{BIAS}			1.0	2.0	mA
回路動作電流変化量	ΔI _{BIAS}	-7 V V _{IN} -25 V, 0 °C T _J +125 °C			1.3	mA
		5 mA I _o 1.0 A, 0 °C T _J +125 °C			0.5	mA
出力雑音電圧	V _n	10 Hz f 100 kHz		100		μV _{r.m.s.}
リップル除去率	R•R	f = 120 Hz, -8 V V _{IN} -18 V, 0 °C T _J +125 °C	54	62		dB
最小入出力間電圧差	V _{DIF}	I _o = 1.0 A		1.1		V
ピーク出力電流	I _{opeak}			2.1		A
出力電圧温度変化	ΔV _o / ΔT	I _o = 5 mA, 0 °C T _J +125 °C		-0.4		mV/°C

μPC16308 (特に指定のないかぎり, $V_{IN} = -14V$, $I_o = 500mA$, $T_J = 25^\circ C$)

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	V _O		-7.7	-8.0	-8.3	V
		-10.5V $V_{IN} = -23V$, 5mA $I_o = 1.0A$, P _T 15W, 0°C $T_J = +125^\circ C$	-7.6		-8.4	V
入力安定度	REG _{IN}	-10.5V $V_{IN} = -25V$		6	160	mV
		-11V $V_{IN} = -17V$		2	80	mV
負荷安定度	REG _L	5mA $I_o = 1.5A$		80	200	mV
		250mA $I_o = 750mA$		30	100	mV
回路動作電流	I _{BIAS}			1.0	2.0	mA
回路動作電流変化量	ΔI _{BIAS}	-10.5V $V_{IN} = -25V$, 0°C $T_J = +125^\circ C$			1.0	mA
		5mA $I_o = 1.0A$, 0°C $T_J = +125^\circ C$			0.5	mA
出力雑音電圧	V _n	10Hz $f = 100kHz$		200		μV _{r.m.s.}
リップル除去率	R•R	f = 120Hz, -11.5V $V_{IN} = -21.5V$, 0°C $T_J = +125^\circ C$	54	62		dB
最小入出力間電圧差	V _{DIF}	$I_o = 1.0A$		1.1		V
ピーク出力電流	I _{Opeak}			2.1		A
出力電圧温度変化	ΔV _O / ΔT	$I_o = 5mA$, 0°C $T_J = +125^\circ C$		-0.6		mV/°C

μPC16312 (特に指定のないかぎり, $V_{IN} = -19V$, $I_o = 500mA$, $T_J = 25^\circ C$)

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	V _O		-11.5	-12.0	-12.5	V
		-14.5V $V_{IN} = -27V$, 5mA $I_o = 1.0A$, P _T 15W, 0°C $T_J = +125^\circ C$	-11.4		-12.6	V
入力安定度	REG _{IN}	-14.5V $V_{IN} = -30V$		10	240	mV
		-16V $V_{IN} = -22V$		3	120	mV
負荷安定度	REG _L	5mA $I_o = 1.5A$		85	240	mV
		250mA $I_o = 750mA$		30	120	mV
回路動作電流	I _{BIAS}			1.5	3.0	mA
回路動作電流変化量	ΔI _{BIAS}	-14.5V $V_{IN} = -30V$, 0°C $T_J = +125^\circ C$			1.0	mA
		5mA $I_o = 1.0A$, 0°C $T_J = +125^\circ C$			0.5	mA
出力雑音電圧	V _n	10Hz $f = 100kHz$		300		μV _{r.m.s.}
リップル除去率	R•R	f = 120Hz, -15V $V_{IN} = -25V$, 0°C $T_J = +125^\circ C$	54	62		dB
最小入出力間電圧差	V _{DIF}	$I_o = 1.0A$		1.1		V
出力短絡電流	I _{Oshort}			2.1		A
出力電圧温度変化	ΔV _O / ΔT	$I_o = 5mA$, 0°C $T_J = +125^\circ C$		-0.8		mV/°C

μPC16315 (特に指定のないかぎり, $V_{IN} = -23\text{ V}$, $I_o = 500\text{ mA}$, $T_J = 25\text{ °C}$)

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	V_o		-14.4	-15.0	-15.6	V
		-17.5 V $V_{IN} = -30\text{ V}$, 5 mA $I_o = 1.0\text{ A}$, $P_T = 15\text{ W}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$	-14.25		-15.75	V
入力安定度	REG _{IN}	-17.5 V $V_{IN} = -30\text{ V}$		11	300	mV
		-20 V $V_{IN} = -26\text{ V}$		3	150	mV
負荷安定度	REG _L	5 mA $I_o = 1.5\text{ A}$		90	300	mV
		250 mA $I_o = 750\text{ mA}$		30	150	mV
回路動作電流	I _{BIAS}			1.5	3.0	mA
回路動作電流変化量	ΔI_{BIAS}	-17.5 V $V_{IN} = -30\text{ V}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$			1.0	mA
		5 mA $I_o = 1.0\text{ A}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$			0.5	mA
出力雑音電圧	V_n	10 Hz $f = 100\text{ kHz}$		375		$\mu\text{V}_{r.m.s.}$
リップル除去率	R•R	$f = 120\text{ Hz}$, -18.5 V $V_{IN} = -28.5\text{ V}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$	54	60		dB
最小入出力間電圧差	V_{DIF}	$I_o = 1.0\text{ A}$		1.1		V
ピーク出力電流	I_{Opeak}			2.1		A
出力電圧温度変化	$\Delta V_o / \Delta T$	$I_o = 5\text{ mA}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$		-1.0		mV/°C

μPC16318 (特に指定のないかぎり, $V_{IN} = -27\text{ V}$, $I_o = 500\text{ mA}$, $T_J = 25\text{ °C}$)

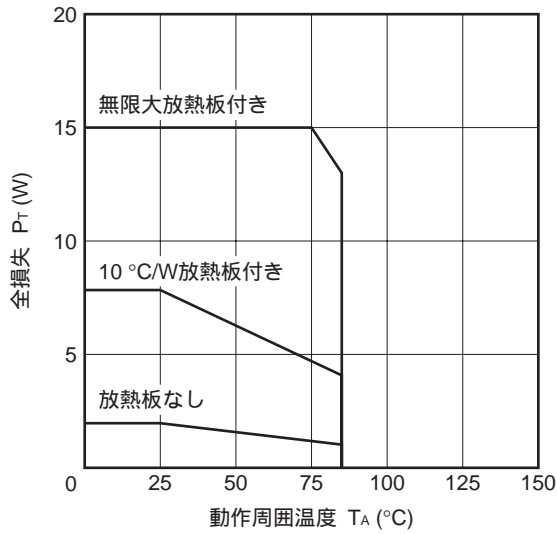
項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	V_o		-17.3	-18.0	-18.7	V
		-21 V $V_{IN} = -33\text{ V}$, 5 mA $I_o = 1.0\text{ A}$, $P_T = 15\text{ W}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$	-17.1		-18.9	V
入力安定度	REG _{IN}	-21 V $V_{IN} = -33\text{ V}$		15	360	mV
		-24 V $V_{IN} = -30\text{ V}$		5	180	mV
負荷安定度	REG _L	5 mA $I_o = 1.5\text{ A}$		90	360	mV
		250 mA $I_o = 750\text{ mA}$		30	180	mV
回路動作電流	I _{BIAS}			1.5	3.0	mA
回路動作電流変化量	ΔI_{BIAS}	-21 V $V_{IN} = -33\text{ V}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$			1.0	mA
		5 mA $I_o = 1.0\text{ A}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$			0.5	mA
出力雑音電圧	V_n	10 Hz $f = 100\text{ kHz}$		450		$\mu\text{V}_{r.m.s.}$
リップル除去率	R•R	$f = 120\text{ Hz}$, -22 V $V_{IN} = -32\text{ V}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$	54	60		dB
最小入出力間電圧差	V_{DIF}	$I_o = 1.0\text{ A}$		1.1		V
ピーク出力電流	I_{Opeak}			2.1		A
出力電圧温度変化	$\Delta V_o / \Delta T$	$I_o = 5\text{ mA}$, 0 °C $T_J = +125\text{ °C}$		-1.0		mV/°C

μPC16324 (特に指定のないかぎり, $V_{IN} = -33\text{ V}$, $I_o = 500\text{ mA}$, $T_J = 25\text{ °C}$)

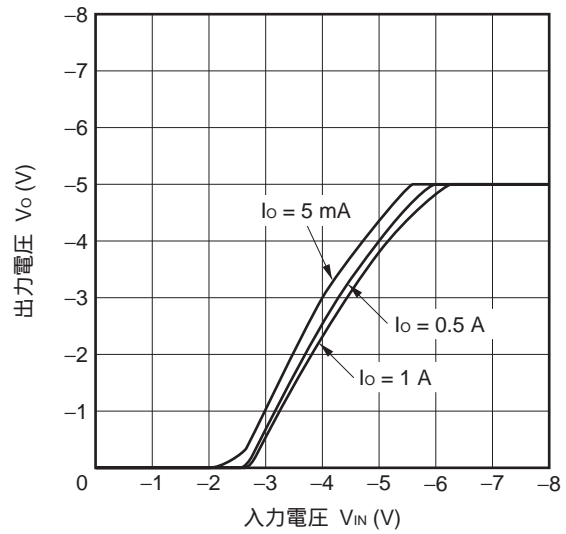
項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
出力電圧	V_o		-23.0	-24.0	-25.0	V
		$-27\text{ V } V_{IN} -38\text{ V}, 5\text{ mA } I_o 1.0\text{ A}, P_T 15\text{ W}, 0\text{ °C } T_J +125\text{ °C}$	-22.8		-25.2	V
入力安定度	REG_{IN}	$-27\text{ V } V_{IN} -38\text{ V}$		18	480	mV
		$-30\text{ V } V_{IN} -36\text{ V}$		6	240	mV
負荷安定度	REG_L	$5\text{ mA } I_o 1.5\text{ A}$		90	480	mV
		$250\text{ mA } I_o 750\text{ mA}$		30	240	mV
回路動作電流	I_{BIAS}			1.5	3.0	mA
回路動作電流変化量	ΔI_{BIAS}	$-27\text{ V } V_{IN} -38\text{ V}, 0\text{ °C } T_J +125\text{ °C}$			1.0	mA
		$5\text{ mA } I_o 1.0\text{ A}, 0\text{ °C } T_J +125\text{ °C}$			0.5	mA
出力雑音電圧	V_n	$10\text{ Hz } f 100\text{ kHz}$		600		$\mu\text{ V}_{r.m.s.}$
リップル除去率	$R \cdot R$	$f = 120\text{ Hz}, -28\text{ V } V_{IN} -38\text{ V}, 0\text{ °C } T_J +125\text{ °C}$	51	59		dB
最小入出力間電圧差	V_{DIF}	$I_o = 1.0\text{ A}$		1.1		V
ピーク出力電流	I_{Opeak}			2.1		A
出力電圧温度変化	$\Delta V_o / \Delta T$	$I_o = 5\text{ mA}, 0\text{ °C } T_J +125\text{ °C}$		-1.0		mV/°C

特性曲線 (特に指定のないかぎり, $T_A = 25^\circ\text{C}$, 参考値)

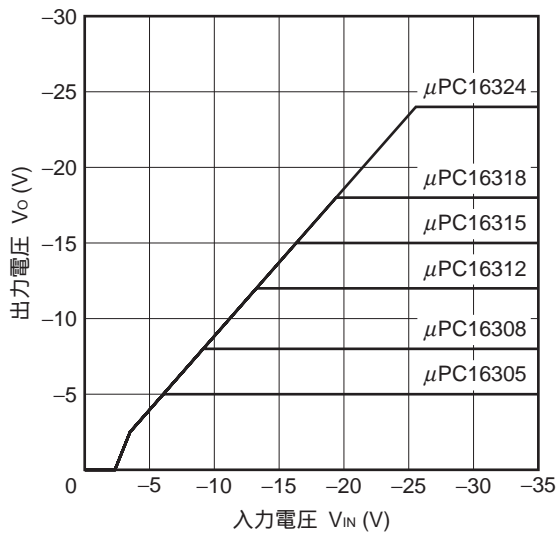
$P_T - T_A$ 特性



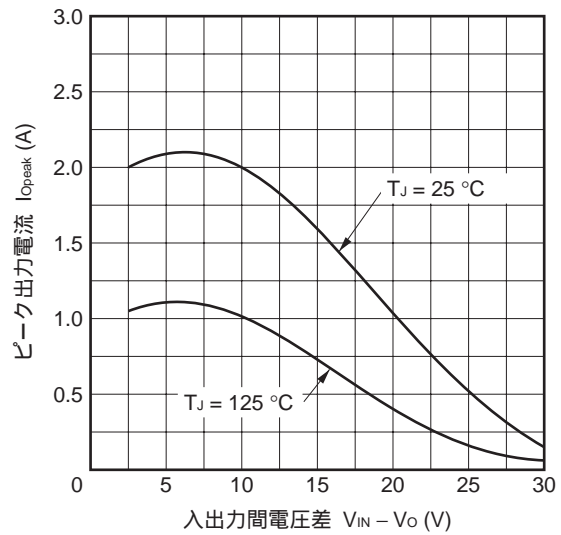
$V_o - V_{IN}$ 特性 (μPC16305)



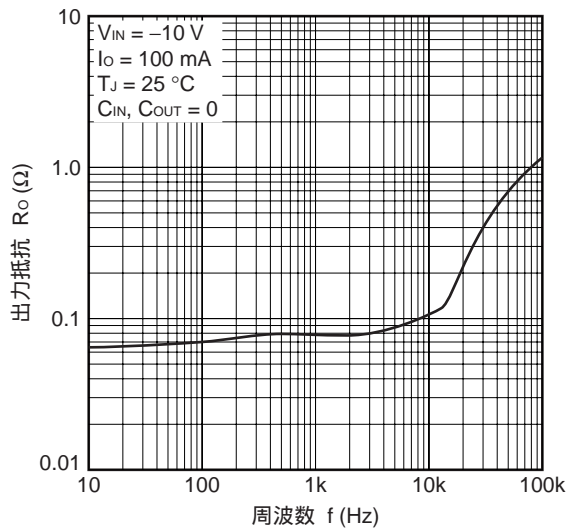
$V_o - V_{IN}$ 特性



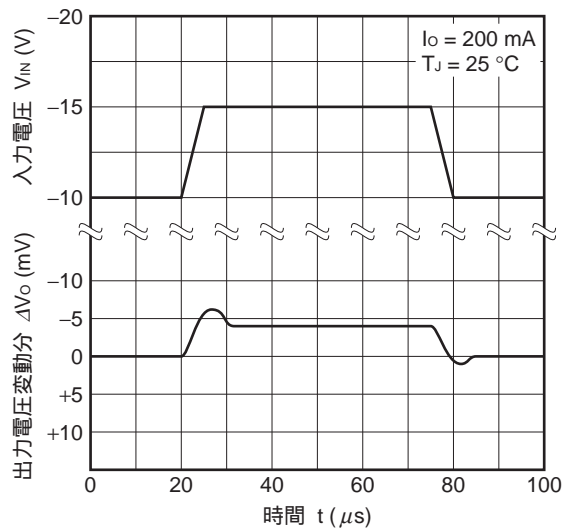
$I_{opeak} - (V_{IN} - V_o)$ 特性



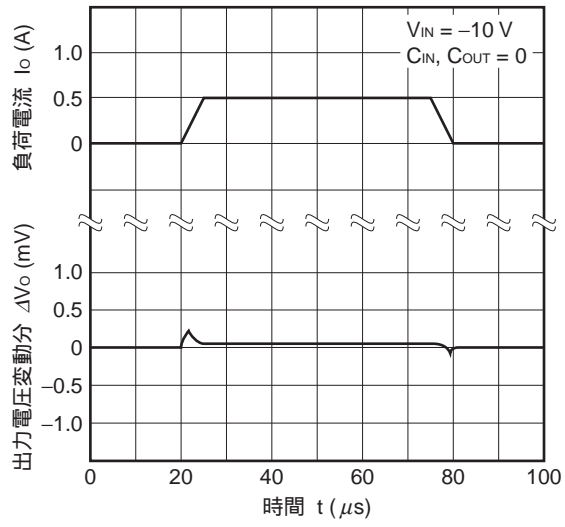
$R_o - f$ 特性 (μPC16305)



入力変動過渡応答特性 (μPC16305)

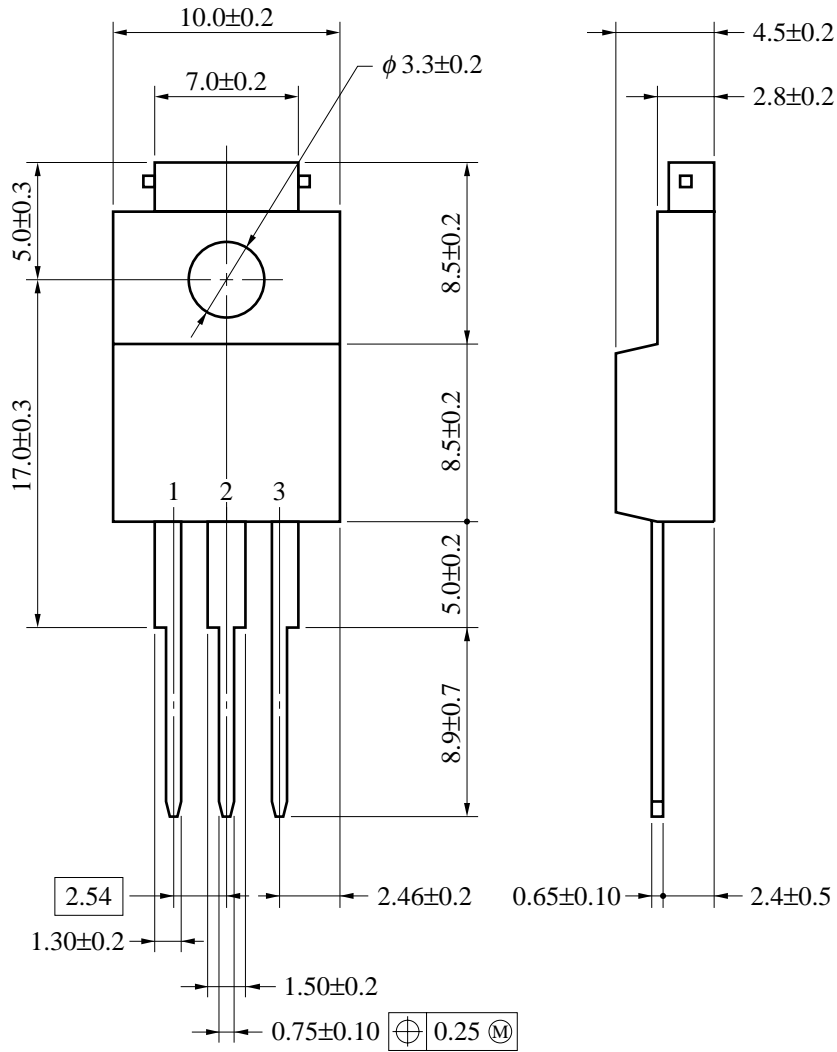


負荷変動過渡応答特性 (μPC16305)



外形図

3ピン・プラスチック SIP (MP-45G) 外形図 (単位: mm)



P3HF-254B-4

半田付け推奨条件

この製品の半田付け実装は、次の推奨条件で実施してください。

半田付け推奨条件の詳細は、インフォメーション資料「**半導体デバイス実装マニュアル**」(C10535J)を参照してください。

なお、推奨条件以外の半田付け方式および半田付け条件については、当社販売員にご相談ください。

挿入タイプの半田付け条件

μPC16300HF シリーズ : 3 ピン・プラスチック SIP (MP-45G)

半田付け方式	半田付け条件
ウエーブ・ソルダリング (端子のみ)	半田槽温度 : 260 °C 以下, 時間 : 10 秒以内

注意 ウエーブ・ソルダリングは端子のみとし、噴流半田が直接本体に接触しないようにご注意ください。

参考資料

三端子レギュレータの使い方 ユーザーズ・マニュアル	G12702J
半導体 品質/信頼性ハンドブック インフォメーション	C12769J
半導体デバイス実装マニュアル インフォメーション	C10535J
SEMICONDUCTOR SELECTION GUIDE -Products and Packages-	X13769X

- 本資料の内容は予告なく変更することがありますので、最新のものであることをご確認の上ご使用ください。
- 文書による当社の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。
- 本資料に記載された製品の使用もしくは本資料に記載の情報の使用に際して、当社は当社もしくは第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。上記使用に起因する第三者所有の権利にかかわる問題が発生した場合、当社はその責を負うものではありませんのでご了承ください。
- 本資料に記載された回路、ソフトウェア、及びこれらに付随する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するためのものです。従って、これら回路・ソフトウェア・情報をお客様の機器に使用される場合には、お客様の責任において機器設計をしてください。これらの使用に起因するお客様もしくは第三者の損害に対して、当社は一切その責を負いません。
- 当社は品質、信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生します。当社半導体製品の故障により結果として、人身事故、火災事故、社会的な損害等を生じさせない冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等安全設計に十分ご注意願います。
- 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「特別水準」およびお客様に品質保証プログラムを指定して頂く「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認の上ご使用願います。
 標準水準：コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
 特別水準：輸送機器（自動車、列車、船舶等）、交通用信号機器、防災/防犯装置、各種安全装置、生命維持を直接の目的としない医療機器
 特定水準：航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器、生命維持のための装置またはシステム等
 当社製品のデータ・シート/データ・ブック等の資料で、特に品質水準の表示がない場合は標準水準製品であることを表します。当社製品を上記の「標準水準」の用途以外でご使用をお考えのお客様は、必ず事前に当社販売窓口までご相談頂きますようお願い致します。

M7 98.8

— お問い合わせ先 —

【技術的なお問い合わせ先】

NEC半導体テクニカルホットライン
 (電話：午前 9:00～12:00、午後 1:00～5:00)

電話 : 044-548-8899
 FAX : 044-548-7900
 E-mail : s-info@saed.tmg.nec.co.jp

【営業関係お問い合わせ先】

第一販売事業部

東京 (03)3798-6106, 6107,
 6108
 名古屋 (052)222-2375
 大阪 (06)6945-3178, 3200,
 3208, 3212
 仙台 (022)267-8740
 郡山 (024)923-5591
 千葉 (043)238-8116

第二販売事業部

東京 (03)3798-6110, 6111,
 6112
 立川 (042)526-5981, 6167
 松本 (0263)35-1662
 静岡 (054)254-4794
 金沢 (076)232-7303
 松山 (089)945-4149

第三販売事業部

東京 (03)3798-6151, 6155, 6586,
 1622, 1623, 6156
 水戸 (029)226-1702
 広島 (082)242-5504
 高崎 (027)326-1303
 鳥取 (0857)27-5313
 太田 (0276)46-4014
 名古屋 (052)222-2170, 2190
 福岡 (092)261-2806

【資料の請求先】

上記営業関係お問い合わせ先またはNEC特约店へお申しつけください。

【インターネット電子デバイス・ニュース】

NECエレクトロニクスデバイスの情報がインターネットでご覧になれます。

URL(アドレス)

<http://www.ic.nec.co.jp/>